

## 概要報告書

「岳都カトマンズ訪問&花のエベレスト撮影紀行IV」は、2014年4月24日～2014年5月3日までの日程で松本市民を始めとする参加者7名とカトマンズ在住のネパール人2名を加えた総勢9名により実施致しました。

参加者一行は、4/24 松本を朝早く発ち、成田空港から香港を経由し、その夜現地時間 PM10:00 にカトマンズ空港へ到着する。この夜カトマンズホテル泊。

**4/25AM9:30、カトマンズ市役所を表敬訪問。** サンタラム・ポハレル、カトマンズ市副行政長官らが、私達一行を出迎えていただきました。MHC 鈴木理事長より、菅谷昭松本市長のメッセージを手渡し、又姉妹提携 25 周年の記念挨拶もさせていただきました。カトマンズ副行政長官からも、末永い交流発展を願う、スピーチを頂きました。



4/25 カトマンズ市へ表敬訪問

タレジュ寺院とカトマンズ旧王宮

仏教寺院スワヤンブナート

この後、2000年の歴史を持つ仏教寺院スワヤンブナート、15Cから20Cまで使用されていた旧王宮ハスマンドカ、そしてパタンの旧王宮前広場を訪ね歩き、**世界文化遺産の遺跡や建物群を探訪**。人々の生活に厚い信仰が深く関わっていることを、あらためて知ることとなりました。夜、カトマンズ市役所主催の歓迎会が、ネパール音楽の流れるレストランで開催され、今後の交流も話題となりました。

4/26 カトマンズから定期便でエベレスト山麓のルクラへ飛び、ルクラからは、シェルパ3人とポーター6人と共に、エベレスト街道を登り4時間でパグディン泊。4/27、8時間をかけ、途中600mの高度差の急坂を登り、標高3440mのナムチェバザール泊。4/28、2時間程で標高3790mクムジュン村に到着。午後、ヒラスクール・クムジュン校を訪問し、MHCの建設した学生寮などを視察しながら、マヘンドラ・カセット前校長先生ら、学校関係者と学生らとも交流。その際、安曇野市穂高北小学校の児童会、PTAが集めた文具を持参し、クムジュン学校へ引き渡しを行いました。この日クムジュン泊。



ネパール国家ラリーグラス咲くナムチェ コンデリを望み、クムジュンへ。クムジュン校訪問、文具も引渡す

4/29、早朝クムジュンからエベレストビューホテルの丘3870mに登り、**展望を楽しむ**。天候は毎日朝は晴れているが、午前中から雲が湧き、思ったような展望が得られない為、朝食前の早朝に決行。朝靄の中の、エベレスト、ローツェを望む。この日午後ナムチェバザールへ下山し、泊す。



雪煙飛翔するエベレスト 8848m左      アマダブラム 6812m      カンテガ 6799mとタムセルク 6623m右

4/30、AM7 時前にナムチェバザールを立ち、一路ルクラへ下山。パグディンからは、長い登りが続き、PM4：30 ようやくルクラへ到着。PM5：00 ホテル到着、泊す。シェルパー、ポーターにチップを渡す。ポーター6 人とは、ここでお別れとなった。

5/1、朝早くから、ルクラーカトマンズ間の定期便の手続きを進める。私達は 12 番目となった。しかし、天候が思わしくなく、昼まで待機したが 10 便まで飛来し、後は欠航決定。今日は 30 便まで予約されていたという。明日の定期便搭乗も不確かというのが、確かなようだ。急遽、連絡を取り合い思案し、カトマンズからヘリコプター2 機を呼ぶことを決定する。

5/2、AM8:00 ルクラへヘリコプターが轟音を唸らせて飛来し、5 人が乗り込む。後の 4 人も 2 番機に乗り込んだようだ。飛来と共に操縦席に雨が吹き付ける。今日は定期便も欠航し、ヘリコプターも、我々の 2 機で中止のようだ。雨の中、1 機目は小 1 時間で、2 機目は 1 時間半程でカトマンズ空港へ到着する。



ナムチェバザールとコンデリ 6187m      ナムチェへの急坂を荷を担って登る      晩さん会での出席者記念撮影

午後昼食後、タメールの街でおみやげ品など買い物をする。PM6：30 今回の現地旅行会社エイジアントレッキング主催の晩さん会に出席。カトマンズの短期大学に通学する、MHC 奨学生 12 名の内 8 名、パサンダワ奨学金事務局長、シャンカール・キャンディール MHC 支部長、サンタラム・ポハレル、カトマンズ市副行政長官、大衆歌手スンドリ・ミカさんらも出席して開催。激励と交流会は PM8：30 まで盛り上がり、皆の再開を約して終了した。

私達 7 名は、会場から直接にカトマンズ空港へ直行し、出国手続きをして、深夜の便に乗り込み、香港経由で、成田空港へ 5/3、PM2：40 に到着。空港からは待機していた、ジャンボタクシーなどで各人、この日の夜までに無事帰宅する。

参加者は、素晴らしい思い出と共に、松本市と共通した「山と美しい自然」を控えた岳都交流と姉妹都市交流の責任も果して参りました。

「岳都カトマンズ訪問と花のエベレスト撮影紀行IV」責任者  
NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 理事長 鈴木 雅則